

産地生産基盤パワーアップ事業都道府県事業評価報告書

都道府県名 岡山県

地域協議会	地区名	取組主体名	対象作物名	事業実施年度	目標年度	成果目標				事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県 の評価		
						現状値	目標値	実績	価格補正後の実績 (R3年度)						
倉敷市地域農業再生協議会	倉敷市浅原地区	晴れの国岡山農業協同組合(岡山西統括本部)	果樹(桃)	R1	R3	販売額の10%以上の増加	(H26~30年度)中3年	793,795円/10a	897,460円/10a	949,044円/10a	904,439円/10a	106.7%	高品質な桃の生産に努め、市場・仲卸からの引き合いも強く、高単価で販売に繋がっており目標値を達成することができた。今後は、更に、新規就農者の確保を進めることにより栽培面積の拡大及び出荷量の増加を図り、販売額の増加を目指す。	生産量、栽培面積ともに増加したこと、高品質な桃生産による高単価での販売の実現により目標を達成している。新規就農者確保・育成、高品質、安定生産のための栽培技術指導など、販売額の向上に向けた産地の取り組みを引き続き支援する。	
津山市地域農業再生協議会	津山市	晴れの国岡山農業協同組合(津山統括本部)	果樹(ぶどう)	H29			(H28年度)	(R3年度)	(R3年度)	(R3年度)				高品質なぶどうを生産することにより高単価となったことから、成果目標を達成することができた。出荷については、8月中旬からの連続降雨により収穫前に裂果が発生したこと、また日照不足による糖度上昇の遅れが影響し、出荷が遅れたことで目標を下回った。今後は、排水改善と灌水対策、着果過多を避ける等の栽培指導と対策を行った上で、出荷量の増進と系統を生じた高地栽培による面積拡大及びハウス栽培による品質向上による販売額の増加を図る。	生産量、販売価格とも順調に伸びており、目標達成できた。R3年度の生産量は天候の影響で目標に達しなかったが、面積拡大も進み出荷量は今後さらに増えると思われる。来年度は今年と同様に高品質栽培に向けた産地の取組を支援していく。
				H30	R3	販売額の10%以上の増加	530,862円/10a	641,316円/10a	948,861円/10a	811,780円/10a	254.3%				
				R1											
笠岡市地域農業再生協議会	笠岡市	晴れの国岡山農業協同組合(高松かさや統括本部)	露地野菜(キャベツ)	H30	R3	販売額の10%以上の増加	(H28年度)	(R3年度)	(R3年度)	(R3年度)		181.1%	導入した機械により耕作及び収穫の適期作業を行ったことや冷涼気候の活用により品質管理の徹底を図ったことで単収が増加したため、成果目標を達成することが出来た。今後は、機械導入や施設整備をはじめ、収益性の向上につながる取組を積極的に行い、より収益性の高い産地への成熟化のため、産地の高収益化に向けたプラン作りを支援する。	ほ場の物理性改善による収量向上、収穫機による収穫作業の効率化に取り組み、計画目標を大幅に上回る成果を達成している。引き続きJA・市・普及指導センターが一体となって、栽培技術の向上や作業の効率化による高収益化に取り組む。	
				R1											
久米南町農業再生協議会	久米南町	晴れの国岡山農業協同組合(津山統括本部)	果樹(ぶどう)	H30	R3	販売額の10%以上の増加	(H28年度)	(R3年度)	(R3年度)	(R3年度)		161.4%	果樹園、ハウスを整備し、ブドウの生産面積を拡大した。また、施設化や品質向上の取組により販売単価が上昇し、販売額は目標を上回った。しかしながら、R3年度は天候不順により生育が順調に進まず未熟粒、裂果等が多量に出荷数量の減少となり、目標出荷数量には届かなかった。今後は、成熟化に向けて栽培に励んでいただく。また、新規就農者の確保と面積拡大を進めており、成木化による出荷量増加し、高品質果実の生産により、販売額の増加を図る。	生産量、販売価格とも順調に伸びており、販売額については目標達成できた。R3年度の生産量については天候の影響で目標に達しなかったが、面積拡大も進み成木も増えてきていることからさらなる出荷量が増えると思われる。来年度は今年と同様に高品質栽培に向けた産地の取組を支援していく。	
				R1											
真庭市地域農業再生協議会	真庭市(北房地区を除く)	晴れの国岡山農業協同組合(真庭統括本部)	ぶどう(ピオーネ、シャインマスカット、瀬戸ジャイアンツ、オーロラブラック)	H29			(H27年度)	(R3年度)	(R3年度)	(R3年度)				当該事業を実施することにより、新植、増設が進み面積の拡大が図られ、施設が広がる。シャインマスカットが本格的な出荷となったことと北部地区とのりレー出荷により販売単価の向上が図られた。しかし、8月中旬~9月中旬の長雨により晩腐病が多発したこと、また、長雨や日照不足により、未熟粒混入や裂果、糖度低下による品質低下の発生等、生産障害が多発したこと等により、生産量が減少し目標を下回った。今後は気象変動に強い樹づくりとして、必要に応じ、土壌改良等の地下部の改善や受光体姿勢等の地上部の改善指導を行う。また、晩腐病の対策として、適期収穫・防除、早めの袋掛け、休眠期の病予防対策を徹底するよう、講習会等で指導する。さらに、栽培面積の拡大による生産拡大を進めることにより出荷量の増加を図るとともに、関係機関と連携して適宜栽培管理を指導し、高品質率を向上することによって販売額の増加を目指す。	栽培面積は順調に増えて単価も向上しているが、出荷量が減ったことで目標が達成できていない。病害虫対策や北部での品質向上に向けた技術指導、生産安定のための技術指導により産地の生産量の向上、高単価の維持を支援していくとともに、選果場への出荷量向上のための生産者や産地の協議などの支援を行っている。
				H30	R3	販売額の10%以上の増加	367,399円/10a	497,908円/10a	472,887円/10a	355,229円/10a	-9.3%				
				R1											
高梁市地域農業再生協議会	高梁市	晴れの国岡山農業協同組合(びほく統括本部)	施設野菜(トマト)	R1	R3	販売額の10%以上の増加	(H29年度)	(R3年度)	(R3年度)	(R3年度)		-77.6%	8月中旬以降の曇雨天の影響による着色不良により品質が低下し、出荷量の減少及び単価安となった。また、人材確保ができず栽培面積の拡大が進まなかったことから販売額が伸び悩み、目標は未達成となった。今後は、県・市・町・JAによる関係機関等の技術指導により、品質及び単収の向上を図るとともに、HPやSNSを活用した情報発信による新規就農者等人材確保に取り組み。また、新規就農者を中心に、果樹部事業を活用した規模拡大を支援することで販売額の向上を目指す。	8月中旬以降の曇雨天の影響による着色不良により品質が低下し、出荷量の減少及び単価安となった。また、人材確保ができず栽培面積の拡大が進まなかったことから販売額が伸び悩み、目標を達成することができなかった。今後は、JA・部会・普及指導センターが一体となってSNS等を活用した情報発信により生産者の確保に取り組み。加えて、継続した巡回指導の実施により、単収の向上による目標達成を図る。	